

2022 年 9 月 26 日の弊社ファンドの基準価額の下落について

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022 年 9 月 26 日、弊社運用ファンドの一部において、基準価額が前営業日比で 5%超下落しましたので、以下に当該ファンドおよび基準価額下落の背景となりました市況環境等についてお知らせいたします。

1. 2022 年 9 月 26 日時点で基準価額が前営業日比で 5%超下落した公募投資信託

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド	14,103 円	-749 円	-5.04%

2. 基準価額下落の背景となった市場動向等

米国時間 21 日、FRB（米連邦準備制度理事会）は 0.75%の大幅利上げを発表しました。この発表自体は市場の予測通りのものとなりましたが、FRB のタカ派的な金利政策が米経済を後退させるとの懸念から、多くのリスク資産が売られました。金利に敏感なハイテク株やグロース株などの下落も大きく、また、景気後退下での需要懸念から原油価格が売られる中エネルギー・セクターの株式も大きく売られました。その他、工業需要の大きいプラチナ価格も下落しています。

また、当社運用ファンドの多くは米ドル建て資産に大きく投資をしているため、日本政府・日銀による約 24 年ぶりの円買い介入により、円が米ドルに対して上昇したこともマイナスの要因となりました。

◆投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◆投資信託に係る費用について

■購入時手数料… 販売会社にお問い合わせ下さい。

■運用管理費用（信託報酬）… 上限 1.65%（税込）

■信託財産留保額… 上限 0.15%

■その他費用

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

◆ご注意

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、お金のデザインが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください

株式会社お金のデザイン

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 2796 号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会